

直方文学散歩・小説編
夢野久作の
「ドグラ・マグラ」ほか

長編「ドグラ・マグラ」

昭和10年1935年に、戦前では珍しい書下ろし長編小説として松柏館書店から発行されました。函入りの立派な製本で、筆者は平成7年1995年に沖積舎が発行した復刻本を入手しました。

四百字詰め原稿用紙千二百枚に及ぶ超大作で、夢野久作は長い年数をかけて執筆し、絶対的な自信を持っていたと伝えられています。

複雑な構成の作品で、要約するのは非常に困難ですが、三一書房の全集の宣伝文句を先に紹介します。

「錯乱と狂気へ誘う魂の幻魔術
世界文学の巨峰 ドグラ・マグラ」

九州帝国大学医学部精神病科に入院している記憶喪失症の若い患者が、失われた自分の記憶を取り戻そうとする過程で、大正13年1924年に直方で、続いて2年後に福岡市の姪浜で起きた殺人事件の真相が次第に明らかになるが・・・というお話です。



「ドグラ・マグラ」初版本の函表紙 (昭和10年 松柏館書店発行)

本書は普通の文体の他に阿呆陀羅經・学術論文・手記・取調調書・説話・新聞記事など多様な文体が駆使され、時系列がメチャクチャに（とカクナを多用するのが夢野久作の文体の特徴）破壊されて、読者を混乱させ「この小説を読んで精神に異常を来たした者は数知れない」という伝説さえあるササマジイ作品です。

直方事件の舞台は、直方町日吉町の女子塾。主人公は母親と二人暮らしの旧制福岡高等学校（戦後の九州大学教養部）の学生で、週末は寄宿舎から直方に帰省していました。

直方警察署（現在地とは異なる）や直方小学校も登場します。

昭和63年1988年に松本俊夫監督が映画化、DVDもあります。角川文庫で入手可能です。

短編「骸骨の黒穂」

オール読物の昭和9年12月号。

明治20年、直方の南の町外れの飯塚に続く街道の居酒屋の主人が急死した後に現れた男女の間で殺人事件が発生し・・・というお話です。

直方警察署（事件の現場）、新入坑の坑夫や医師が登場します。角川文庫の「骸骨の黒穂」に収められていましたが現在入手できず、インターネットの青空文庫で閲覧・印刷が可能です。

短編「女坑主」

昭和11年の週刊朝日・大衆読物号に遺作として発表された現代もの。直方の女炭鉱主からダイナマイトを手に入れようとした男の正体は果して・・・というお話です。

直方駅近くの炭鉱や「日吉町の日吉旅館」が登場します。角川文庫の「少女地獄」に収められ書店で入手可能です。

九州人の夢野久作は東北人の宮沢賢治と並んで今後も読み続けられる作家であり、代表作である「犬神博士」や「ドグラ・マグラ」の主な舞台が直方であることは市民にとって嬉しいことだと思います。

直方の歴史と文化

文 柵 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化スポーツ推進課社会教育係 (TEL 25-23326)

人の動き

■人口 56,494人 (-153) ■世帯数 27,328世帯 (+195)
[うち外国人637人]
男 26,694人 (-32) 全て令和2年4月末現在
女 29,800人 (-121) ()は前年同月との比較

<発行> 直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL ... <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日> 毎月1日 (月1回)
<編集> 秘書広報課秘書広報係
TEL ... (0949)25-2236 FAX ... (0949)22-5107
E-MAIL ... n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作> 株式会社ワールドプリンティング

携帯電話向け情報提供サービス

SNSやwebサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市ホームページ



市の情報がもりたくさん

直方市インスタグラム



さあ、あなたもフォロー!

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう!

情報メールつながるおがた!



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで

